

# 価値提供の「思

## 中小企業の生存戦略

# 考

## 第9回 コスト最適と機械化②

○：前回、中小企業にた通り、システム導入のとして即実行可能な自動失敗は人や部署の調整に化は「事務作業」と規定よるものが大半だ。しかしたが、今回は具体的なし、RPAなどに代表されるノウハウについて触れる。調整を行う必要がほとんどない。



三枝国際特許事務所  
診断士

中小企業  
診断士

柚木 正人氏

めには、「人報だけだ。がやりやすい。○：運用面においてポ

作業であっても「誰の業務が増えるのか」など組織内では抵抗が起りやすく、調整に時間を要してしまう。

一方、機械による自動化は、プロセスである作業そのものの自動化を指すため、どれ

「誰がやるか」という問題自体が起らない。た効率にするだ、留意する点を挙げれば、実際の作業者にヒアリングを行い、自動化を進めていく中で、「作業者の手順通りに自動化を

自動化は成功し

「End to End」の思考

機械がやりやすい作業へ変換

丸投げのような「簡単な実現すること」は価値を生まない。以前も触れたが、自社内の人材の多様性が必要になる。

次回、「コスト最適と機械化③」は、6月22日掲載

「End to End」の思考

「誰の業務が増えるのか」など組織内では抵抗が起りやすく、調整に時間を要してしまう。

一方、機械による自動化は、プロセスである作業そのものの自動化を指すため、どれ

「誰がやるか」という問題自体が起らない。た効率にするだ、留意する点を挙げれば、実際の作業者にヒアリングを行い、自動化を進めていく中で、「作業者の手順通りに自動化を

自動化は成功し

「End to End」の思考

機械がやりやすい作業へ変換

丸投げのような「簡単な実現すること」は価値を生まない。以前も触れたが、自社内の人材の多様性が必要になる。

次回、「コスト最適と機械化③」は、6月22日掲載

# End to Endの思考

## 機械がやりやすい作業へ変換

ある作業を自動化する際は、目を排除し、要素に分解し、End to Endの思考、一般に精通していることも求められることから、自ら実現すること、社内開発をすることが望ましい。

もう一つは、「他に自動化の成否は技術力ではなく、自社の業務プロセス変換を適切に行え

次回、「コスト最適と機械化③」は、6月22日掲載